

# 市政に関する一般質問

## 3月会議は17名の議員が質問

### 新型コロナウイルス感染症対策について

小易和彦 議員

問 今後の新型コロナウイルスワクチン接種の課題及び改善策について伺います。

答 小児接種を開始すること、ワクチンの種類が複数となること、接種対象者も5歳から11歳と12歳以上で初回接種の方、追加接種の18歳以上の方と複数となることから、接種会場が混雑が生じないようにはする必要があります。集団接種会場では、ワクチンご

### 本市のスポーツ振興について

伊福幸一 議員

問 過去の一般質問で取り上げた総合型地域スポーツクラブ導入の進捗状況と、中学校やスポーツ施設にナイター設備を設置することへの見解を伺います。

答 総合型地域スポーツクラブについては、令和4年3月中旬に設立総会を開催し、令和4年度より活動がスタートしています。

### コロナ禍における学校給食と食育について

佐藤剛 議員

問 本市の学校給食費の状況について伺います。

答 令和3年度学校給食実施状況等調査では、千葉県内の小学校平均は月額4千609円、平均単価269円、中学校平均は月額5千424円、平均単価322円となっています。本市は、小学校が月額4千270円、日額255円、中学校が月額4千860円、日額291円であるため、県内の

保育料の減免、子ども医療費の高校生までの助成など、教育、福祉全般にわたり、保護

する必要があり。そのため、接種券に同封する案内文等にこれらの内容を分かりやすく明記して作成するなど、対応します。



現在の集団接種会場の様子

問 eスポーツについて、地方自治体として今後どのような取り組みが期待されるか伺います。

答 地域におけるイベントとの連動をはじめ、福祉や教育観光誘客などのツールとして地域の事業者や住民とともにeスポーツに取り組むことで地域活性化に繋がることが期待されています。

問 スケートボードやBMXをプレーできる施設の整備についての見解を伺います。

答 今後の課題として調査研究していきたいと考えています。

問 育ち盛りの子どもたちに安全で、栄養豊富でおいしい給食を提供するために、さらなる学校給食費の公費補助を検討できないか伺います。

答 多子世帯の学校給食費や保育料の減免、子ども医療費の高校生までの助成など、教育、福祉全般にわたり、保護



### 自殺対策について

鈴木哲也 議員

問 悩みを抱えた児童・生徒がいつでも簡単に相談窓口へアクセスできる手段として、昨年の3月会議で提案したLINEによるプッシュ型の情報発信、市のツイッターやフェイスブックを活用した定期的な情報発信、現在推進しているQRコード付きのチラシ及びメッセージカード配布の更なる推進、スマホを持っていない児童・生徒への対応として現在学校で配付している学習用端末を活用した相談窓口へのアクセス方法の拡充など、多様な選択肢の提供を要望しますが、本市の見解を伺います。

答 児童・生徒がいつでも簡単に相談窓口へアクセスできる手段については、関係機関

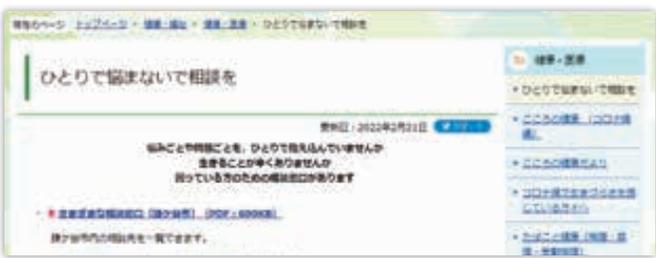
問 搬送者の傷病程度の状況

答 令和3年は、入院を必要としない軽症2千190人、入院が必要な中等症2千719人、長期入院が必要な重症408人、死亡78人で、そのほか、病院に収容したが、受診しなかった人が1人いました。割合としては、中等症が全体の50・4%、軽症が全体の40・6%です。

問 全国版救急受診アプリ「Q助」と救急安心電話相談とはどのようなものか伺います。

答 全国版救急受診アプリ「Q助」は、総務省消防庁が主体となり、急な病気やけがをしたときに該当する症状を画面上で選択し、緊急度判定

と連携し、子どもたちに配慮している学習用端末からでもできるよう、検討していきます。



市ホームページ上で相談窓口を紹介

### 子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）の接種について

富田信恵 議員

問 HPVワクチンは、接種後に副反応の報告が相次ぎ、積極的勧奨を差し控える事態となりました。その後、接種による有効性が、副反応のリスクを上回ると認められ、本年4月より積極的勧奨が再開されることとなりますが、対応を伺います。

答 対象となる小学6年生から高校1年生に相当する女子約2千400人に個別通知を再開する予定で、接種に関する副反応や有効性などを丁寧に説明してまいります。また、ホームページにHPVワクチンに関する情報を掲載し、電話相談に応じるなどして、安心

### 学校給食費の無償化について

佐竹知之 議員

問 多子世帯における第3子以降の給食費の無償化を進めた場合、その対象者数と必要となる予算額を伺います。

答 令和4年度予算案では、第3子以降学校給食費減免制度として対象の児童・生徒数を420人とし、合計1千5万9

### 高齢者の「聞こえづらさ」の状況について

松原美子 議員

問 本市では聞こえづらさの状況把握を、どのように行っていますか。

答 難聴があると、他者とのコミュニケーションが取りにくくなり、閉じこもりがちになりやすく、また、認知症の発症リスクを高める要因にも

### 電話de詐欺（振り込め詐欺等）対策について

宗川洋一 議員

問 本市の電話de詐欺の被害状況を伺います。

答 令和3年の被害件数は42件、被害総額が1億3千564万円でした。県内市町村別人口1万人あたりの被害金額では本市が最も多く、約1千234万円となっています。

して接種できる体制を構築していきます。

問 積極的勧奨の差し控えにより無料接種機会を逃した方への対応を伺います。

答 平成9年4月2日から平成18年4月1日生まれの女子約4千700人が本年4月から3年間の期限付きで接種対象となります。今後、国や県等の動向を注視し、接種体制や対象者への周知方法などについて、市医師会等と協議しながら体制を構築していきます。

問 現時点において、段階的な無償化の計画はありませんが、近隣市の実態調査や将来的に持続可能な学校給食の在り方などを引き続き研究していきたいと考えています。

問 今後の電話de詐欺の具体的な対策を伺います。

答 留守番電話機能の活用を推奨するとともに、様々な電話de詐欺対策機器やサービスの有効性を周知しつつ、詐欺対策機器の貸出しや購入補助事業については、AIを活用した電話de詐欺対策なども含め、調査研究を継続していきます。